

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

会津美里町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福島県大沼郡会津美里町

3 地域再生計画の区域

福島県大沼郡会津美里町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、戦後間もない昭和 25 年（1950 年）の 38,779 人をピークに、その後は、全国の地方と同様に、高度経済成長期（1954～1973 年）は東京圏など大都市部への人口移動などにより減少が続きました。

昭和 50 年（1975 年）以降は、安定成長期（1974～1984 年）や第 2 次ベビーブーム（1971～1974 年）、平成 3 年（1991 年）頃からの町内での民間による宅地造成や土地区画整理事業による転入者の増加などにより、減少が一旦落ち着きました。

しかし、国勢調査によると、平成 12 年（2000 年）に 27,000 人を下回ってから急速に人口の減少が進み、平成 27 年（2015 年）は 20,913 人と 10 年間で 3,828 人（15.5%）の減少となっています。この要因としては出生数の低下や若年層の恒常的な町外への流出などが挙げられます。

住民基本台帳によると令和 3 年には 19,773 人となっており、人口減少は今後も進んで令和 27 年（2045 年）には、平成 27 年（2015 年）に対して 8,509 人（40.7%）減少して、12,404 人になるものと推計され、2065 年には 8,039 人まで減少すると推計されます。

本町の人口を年齢 3 区分に見ると、生産年齢人口（15 歳～64 歳）は、総人口にほぼ比例して減少しており、平成 12 年（2000 年）から平成 27 年（2015 年）にかけて 14,919 人から 11,347 人まで減少しています。今後も減少が続き令和

12年（2030年）頃は老年人口とほぼ同じ値で推移するが、令和27年（2045年）頃には老年人口を下回ると推計されます。

年少人口（15歳未満）は、平成12年（2000年）から平成27年（2015年）にかけて4,032人から2,253人と減少し続けています。

老年人口（65歳以上）は、増加傾向にあったものの、平成12年（2000年）から平成27年（2015年）にかけて7,221人から7,313人とほぼ横ばいの状態となっており、令和12年（2030年）頃から減少に転じると推計されます。

平成27年（2015年）時点での年齢3区分別の人口割合の推計は、年少人口10.8%、生産年齢人口54.2%、老年人口35.0%に対し、令和27年（2045年）時点での年齢3区分別の人口割合の推計は、年少人口8.5%、生産年齢人口45.0%、老年人口46.5%と見込まれることから、人口減少とあわせて少子高齢化への対応が必要となります。

本町の人口動態の内訳をみると、自然動態については、平成2年（1990年）以前は、出生数が死亡数をほぼ上回っていたが、平成3年（1991年）以降は死亡数が出生数を上回る「自然減」の時代に突入しました。その後、死亡数が増加する一方で出生数が減少してその差は年々広がっている状況にあります。過去10年間の平均では、年間約246人の自然減となっています。

社会動態については、昭和50年（1975年）以降、転出者数が転入者数をほぼ毎年上回っており、平成5年（1993年）～平成7年（1995年）、平成9年（1997年）は、一時的に転入超過となったものの、それ以降は転出超過が続いており、人口減少の中、転入・転出の社会動態の全体の動きも小さくなってきています。過去10年間の平均では、年間約142人の社会減となっています。

この急激な人口減少は、地域経済の縮小や地域社会の担い手の減少に加え、これまで町民が大切にしてきた各地での生活や文化、伝統、行事などを維持・継承することが困難になるなど、住民の生活、産業の振興、地域活動の維持などに対し、様々な問題を引き起こしています。

このような背景のもと、人口減少を緩やかにするためには、結婚、出産、子育ての希望をかなえ、生活面の充実を図るとともに、文化や歴史、街並み等を活かした暮らしやすさを追求し、地域の魅力を育み、ひとが集う地域を構築することが求められています。また、地域の特性を活かした産業などで稼ぎ、稼

いだ資金を地域内に投資して循環させることにより地域経済を強くすることが必要であります。

町民が本町での暮らしに満足し、本町を誇りに思うことができるまち、住み続けられるまちを実現していくため、本計画期間中、次の4つの基本目標を掲げ目標達成のために取組を進めていきます。

基本目標1 儲かる地域をつくとともに、安定した雇用を創出する

基本目標2 本町と多様に関わる人を増やし、新しい人の流れをつくる

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標4 質の高い安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	農業総収入額	48.3億円	49.3億円	基本目標1
ア	木材生産量	6,023m ³	6,504m ³	基本目標1
ア	町内企業の新規就業者数	—	40人	基本目標1
イ	人口における社会動態 (転入－転出)	△58人	△33人	基本目標2
イ	関係人口の創出に取り組む企業・団体・個人の数	—	4件	基本目標2
ウ	年間出生数	113人	100人	基本目標3
ウ	子育てしやすい環境のまちだと思える町民の割合	76.5%	82.0%	基本目標3
エ	防災・消防体制が充実していると感じる町民の割合	67.0%	77.4%	基本目標4
エ	地域の活動が活発化し、魅力ある地域がつけられていると感じる町民の割合	49.8%	52.0%	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

会津美里町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 儲かる地域をつくとともに、安定した雇用を創出する事業
- イ 本町と多様に関わる人を増やし、新しい人の流れをつくる事業
- ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- エ 質の高い安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

② 事業の内容

ア 儲かる地域をつくとともに、安定した雇用を創出する事業

・農産物の六次産業化及び生産性向上に取り組む農家への支援や地域商社等による販路開拓及び販路拡大を通じた安定供給など、農産物の高付加価値化及び安定した販路を確保します。

・Uターン者等の新規就農及び定年帰農者への支援など、農業を担う人材を育成します。

・森林整備等の促進や新たな木材需要の創出など、林業の育成に向けた基盤をつくります。

・金融機関等と連携した事業承継及び生産性向上や起業を後押しする民間主体の中間支援組織等の育成・支援など、町内事業所の稼ぐ力の向上及び新規創業を支援します。

・若者の地元定着や町外に転出した人材が町内に戻り活躍できるよう、地元企業の雇用開拓及び情報発信により、若年世代の就職を支援します。

【具体的な事業】

- ・六次産業化支援事業

- ・森林資源活用推進事業
- ・中小企業支援事業 等

イ 本町と多様に関わる人を増やし、新しい人の流れをつくる事業

- ・観光資源を磨き上げ、観光情報を魅力的に発信すると共に、住民や事業所と一体になり地域ぐるみの観光客の受入体制を整備し、観光を入口とした交流人口及び関係人口を創出します。
- ・これまでの移住相談ワンストップ窓口や空き家バンク、田舎暮らし体験等の取組を継続しつつ、地域住民と一体になり、町の魅力を再発見し地域特性を活かした取組により、居住地としての魅力を高め、広く情報を発信するなど、総合的な移住・定住を促進します。
- ・町の歴史や文化を理解し故郷を愛する心を育てる教育や高校生による地域課題の解決策探究によるまちづくりへの参画を推進し、進学や就職による転出後のふるさと回帰の心を育てます。
- ・大学との地域ニーズを踏まえた実践的なプログラムの構築など、大学が持つ専門性、知的資源と人的資源を活かした学官連携を推進します。

【具体的な事業】

- ・観光まちづくり推進事業
- ・移住促進事業
- ・地域おこし協力隊事業 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

- ・ライフスタイルに応じた結婚観の醸成や結婚を望む男女に対する出会いの機会創出等の支援を行います。
- ・妊娠を望む夫婦への支援、子育ての不安解消や子どもの居場所づくりなど、安心して出産・子育てができる環境づくりにより、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援を行います。
- ・ワーク・ライフ・バランスや柔軟な働き方の実現に向け、安心して出産・子育てしながら働くことができる環境づくりを推進します。

【具体的な事業】

- ・ネウボラ推進事業
- ・子育て支援センター管理運営事業

- ・男女共同参画推進事業 等

エ 質の高い安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

- ・町内にある遊休資産の地域資源化に向け、地域に存在する空き家や空き店舗等を活用した地域力向上を図る取組を支援します。
- ・これまで鉄道、路線バス及びデマンド交通が果たしてきた公共交通としての役割の維持に加え、隣接する自治体や拠点間の円滑な移動を確保し、将来にわたり持続可能な地域公共交通網の構築を目指します。
- ・図書館を核とした地域交流や文化財を活用した地域づくりなど、多様な連携による町民主体の地域活動を支援します。
- ・スポーツによる健康づくりを推進すると共に、町内医療体制の充実と地域包括ケアシステムの構築により、健康で快適な生活づくりを推進します。
- ・消防団員の確保と自主防災組織の設立を促進し、地域における防災力を強化します。

【具体的な事業】

- ・地域公共交通活性化再生事業
- ・集落支援、町民活動支援事業
- ・生活支援体制整備事業 等

※なお、詳細は会津美里町第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

95,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年9月に町民代表及び産官学金労言の代表者による「会津美里町地域創生・人口減少対策有識者会議」を開催し、専門的見地からPDCAサイクルによる効果検証を行います。効果検証結果は、町ホームページにて公表します。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで